

《千葉県DV防止・被害者支援基本計画（第4次）》
令和2年度施策 評価シート

評価コード 16

施策の方向	職務関係者の資質向上
担当課	児童家庭課・女性サポートセンター・教育庁教育振興部生涯学習課

1 事業の概要

基本目標	VI	施策の方向	11	施策の内容	・DV職務関係者研修等の充実
当初予算額(千円)		712		決算額(千円)	
				639	
事業の概要・目的	124市町村、関係機関への講師派遣（児童家庭課・女性サポートセンター）市町村や裁判所など関係機関が開催する研修や講演会等へ職員を講師として派遣するなど、研修機会の確保に努める。				
	125国等で主催する研修への参加（児童家庭課・女性サポートセンター等）内閣府等で実施する様々な研修や独立行政法人国立女性教育会館で開催される研修等に職員を派遣し、資質向上を図るとともに、情報収集に努める。				
	126 市町村教育相談員及び子育てサポーター等への研修（教育庁生涯学習課）市町村相談員及び子育てサポーターリーダーを養成し、県内の家庭教育相談体制の強化を図る。				
数値目標など					
指標名等	-				
目標	-	実績	-		

2 事業実績・評価等

(1) 施策の実施結果

124 女性サポートセンター【当初予算0円・決算0円】 市町村や国等の実施する研修に県職員を講師として派遣した。 市町村派遣 0回（0回） 国等派遣 2回（女サポ2回） 県関係機関派遣 0回（0回）
125 児童家庭課・女性サポートセンター等【当初予算0円・決算0円】 国等で開催される研修等に職員を派遣し、資質向上及び情報収集に努めた。 関東甲信越地区婦人保護事業研究協議会 書面開催 全国婦人相談所長及び婦人保護主管係長研究協議会 書面開催 女性に対する暴力被害者のための官官・官民連携促進ワークショップ事業 オンライン開催 若年層を対象とした女性に対する暴力の予防啓発のための研修 オンライン開催 女性関連施設相談員研修 オンデマンド開催 婦人相談所等指導者研修 オンライン開催
126 生涯学習課【当初予算712千円・決算639千円】 家庭教育研修講座「親の学び・相談基礎コース」「相談Ⅰコース」「相談Ⅱコース」各3回実施している。全18講座の予定だったが、新型コロナウイルス感染症の流行により、16講座の実施となった。その中の1講座「虐待児童とDV」において、DV・虐待予防研究会 代表 山中 多民子 氏を講師として招き、DVの定義や種類、DV加害者と被害者それぞれの心的側面、DVのサイクル、DVの被害支援者として、気を付けないこと等を内容とした講座を実施した。 ・講座受講者34名、研修満足度97% ・以下、受講生からの感想より ・DVについて今まで具体的に学ぶ機会がなかったので、わかりやすく、具体的な事例をきくことができ、勉強になった。いろいろな場面で活かしていきたい。 ・DVについて、加害者から逃げる方法等を知ることができた。また、DV被害に遭っている方の苦しみを理解することができた。 ・グループワークができてとてもよかった。 ・支援者としてのスタンスを改めて考えるよい機会となった。

(2) 評価（別紙視点参照）

124県職員の派遣により、各機関において研修機会を確保できた。

125相談内容が複雑化・多様化していることから、よりきめ細やかな支援が求められており、相談業務に携わる職員の専門知識の習得、資質向上を継続して図っていく必要がある。

126 DVの定義や種類、またはDV加害者と被害者の心理的側面やDVの被害者の具体について知ることができた。

- ・DVのサイクル（ハネムーン期・蓄積期・爆発期）のことや、具体的な事例からDVについての詳しく知ることができた。

- ・DVの被害者支援において、すべきこと、やってはいけないことについて、共通理解を図ることができた。

- ・支援していく立場の参加者同士で、グループワークできたことで、話し合いに深まりが見られた。

3 課題及び改善すべき点はあるか、ある場合、今後どのように対応していくのか。

<課題・改善すべき点>

124DVや児童虐待の増加に伴い、様々な機関や相談員に相談が寄せられるようになっていることから、引続き、広く研修機会を確保していく必要がある。

125相談内容が複雑化・多様化していることから、よりきめ細やかな支援が求められており、相談業務に携わる職員の専門知識の習得、資質向上を継続して図っていく必要がある。

126・市町村における家庭教育支援活動及び相談業務活動が、DVの解決にどのように関わっていけるのか明らかにする必要がある。支援員等の知識・技能の習得及び資質の向上等、人材の育成を図る本講座においてDVをどう扱うかが課題である。

<今後の方針>

124引続き職員の派遣や家庭教育研修講座を実施し、幅広い機関における研修機会を確保する。

125国等の開催する研修への職員の参加により、職員の専門知識の習得、資質向上を図っていく。

126・DV被害を低減または予防していくために、家庭教育支援が果たす役割は何か明らかにしていく視点が大切である。DVの現状や支援の事例等を把握することをおして、支援者のニーズにあった講座にしていく必要がある。

4 委員意見

引き続き研修等の実施と全国の動向等の把握・情報収集等を行い、職員の資質向上を図れるように努めてほしい。専門的研修では自身が講師となることで更なる資質向上が期待できるため、実施方法等、検討してもらいたい。

また、被害者支援には、様々な職種がかかわるため、各職種の役割や専門性を表示化するなど工夫し、被害者に理解してもらい相談がしやすくなるような配慮も必要である。